

■事前説明・ヒアリングにおける意見概要等について

委員	意見概要等
宮田 委員	<p>【体裁・表現について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形や地質の説明では、岩や露頭の写真だけでなく、花崗岩や流紋岩など各地域の散策ルートにて確認できる岩の薄片写真を示すと分かりやすく、また、子どもたちの興味を引く。 <p>【学習素材について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸層群、白川累層の特徴として植物化石が挙げられる。 ・丸山断層は、かつては六甲山の形成にとって重要であったことから天然記念物となっている。 ・須磨断層は須磨離宮から淡路島へ抜けていく重要な断層である。また、横尾山断層はトンネル工事で確認されている。 ・須磨寺には地震の記録が残っていると聞いている。また、これまでの冊子では縄文海岸線の情報を記載しているが、過去の津波高さの記録が残っていれば、東日本大震災を踏まえる観点から併せて記載しては。 <p>【散策ルートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散策ルートの設定については、登山ルートだけでなく、学校の先生が教材として利用する場面を想定することが重要である。 ・住吉川地域の散策マップを学生の現地視察に活用したが、現地に危険な場所があった。安全面からの散策ルートの改善、案内標識の充実が必要である。
香西 委員	<p>【学習素材について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高取山の裏では石炭を採取し、戦時中に軍艦などの燃料に利用されていた。 ・白川台周辺では白い地層が見られる。 ・須磨では、歴史文化の学習要素が豊富であるが、鈴木商店が代表的な要素の1つである。 ・新田次郎の著書「孤高の人」のモデルとなった登山家「加藤文太郎」など、六甲山に由縁のある人物を紹介してはどうか。 ・近年は災害が減少しており、土木技術の進歩であろうと考えている。また、森づくりにおいて企業の参画が見られる。 <p>【散策ルートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白川から、しあわせの村に抜けるルートはなかなか良い。 ・自然のルートとして、小学校の横から高取山に登る道を入れてはどうか。
隈下 委員	<p>【体裁について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近教科書などで、年表や地図などの折込を外側に常時開いたまま本文を読むことの出来るものができており、使いやすくと大人気である。今回の学習教材にもそういった形を取り入れることができるとありがたい。 ・学習教材を子供向けと限定するのであれば、ワークブックと一冊にする方が子供の集中力が高まり良い教材となる。 ・章の最初に「この写真はどこ？」などの問題があつて、選択肢から答えを選ぶような形式にすると子供へのインパクトある教材となる。山陽電鉄の昔の写真を例に取れば、須磨のどのあたりの写真をクイズ形式で問いかけるなどとすれば子どもたちの興味を強くひきつけることができるのではないかと。 ・写真も大変重要であるがイラストによる説明がたくさん使われているのは子どもたちにはたいへんわかりやすい。

委員	意見概要等
隈下 委員	<p>【地域活動について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動として、井戸書店の森さんが小学校区で樹木を植える活動をしている。地域の小学生に論語を教えるなどもしている。 ・須磨区では、防災コミュニティ活動は盛んに行われている。活動に参加する若い人が減っているので、子供たちに活動を紹介するのは良いことである。 <p>【学習素材について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の偉人に、須磨出身で沖縄県知事になった島田叡という方がおられる。人間という切り口から身近な人の話題を提供すれば、子どもたちに大きなインパクトを与えられると思われる。 ・「青葉の笛」については、唱歌を掲載したほうが良いかどうかはわからないが、良い話であり、ひとつのドラマである。掲載すべき要素である。 ・水がとても貴重で価値があることを表現する方法として、水がなぜ大切なのか、また日本は世界中でも豊富な水資源があることを記述するなど、世界から見た視点でコラムを書くと良い。(その他の例として、日露戦争でロシアに日本が勝ったことにより、人種差別が無くなった 等) ・須磨地域には俳句碑が多くあるが、須磨を題材にした俳句の傾向はどんなものであるか調べてみるとおもしろい。 <p>【散策ルートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散策ルートの名称をアピール性の高いキャッチフレーズ的にすると子供たちが実際に行ってみようという気持ちになる。(例：かつて秀吉が歩いた道・・・)
志水 委員	<p>【学習素材について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妙法寺小学校では100年誌をつくっており参考になるのではないか。 ・断層等の地質の情報、植物・動物の写真等については理科部に確認する。 ・「弘法の井戸」は、震災時に水を提供し、住民が助かったといわれている。 <p>【地域活動について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼追いは1月3日に行われ、神戸市内で最も早く行われる。若草学校区の小学生が参加している。 ・北須磨小学校に赴任していた時に、天井川の活動に参加したことがあり、標語をたて、川をきれいにする活動をしている。様々な団体が活動しているので、学習教材に掲載する際にはバランスを考えて掲載する必要がある。 ・一弦琴は北須磨小学校、高倉小中学校で同好会的に子どもたちが活動している。子供たちが身近に感じる歴史的なものを掲載すると良い。
田中 委員	<p>【学習素材について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地質の章において神戸層群を掲載するのであれば、神戸層群を形成する「白川累層」をいれてもらいたい。 ・大手町の勝福寺あたりに「ハラキリ堂」という地名が残っている。(尊氏が切腹しようとしたところ) ・1960年代まで河口から500mぐらいのところで、ウナギを獲っていた。 ・千森川の水車は精米に使用していた。千森川の河口部は薄暗く「コモ谷(隠れ谷)」とよばれていた。 ・かつては現光寺に関所があったが、現在では関守神社に移されている。 ・ベルトコンベアがあった場所は、長く人の手が入らなかったため、貴重な海浜性植物が自生している。大阪湾でも貴重な場所となっており、保全活動が進められている。 ・天井川の上流部には「天皇池」と呼ばれる砂防ダムの池があり、水量調節のためのトンネルが掘られている。ドイツの技術を導入して建設されており、長さ約100m程である。現状では底に泥が溜まっており、ライトが無いと入れない。